



はさみ 議会だより



一足早いお正月を感じてもらおうと
つきたてのお餅でお客様をおもてなし
～第14回皿山器替まつり(12/1～2)～



もっと 腰を入れて!

●30年9月定例会(日程:9月27日～10月11日)

- ・29年度決算認定概要P3
- ・決算特別委員会Q&AP4
- ・一般質問 8人が登壇～プレミアムウーマンデーの推進を ほか～P7

●委員会レポートP12
(11月1日から委員会構成が変わりました)



No.144

平成30年12月号



11月1日から委員会構成が変更

写真	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
氏名	福田 勝也	百武 辰美	城後 光	横山 聖代	北村 清美	脇坂 正孝	三石 孝	中尾 尊行	尾上 和孝	堀池 主男	今井 義長 泰照	石峰 副議長 実	川田 保則	太田 一彦
議席番号	1	7	2	3	5	6	4	8	9	12	14	13	10	11

※各委員会構成については12～13ページに掲載しています。

先の町議会議員補
欠選挙で福田勝也氏
(湯無田郷)が9月10
日から新しく議員と
なりました。



元気な町づくり
に全力投球！

東小学校プール 改修工事請負契約 7,709万4百円にて承認

一般会計以外の会計	補正額
国民健康保険事業 特別会計補正予算(第2号)	90万円 追加
介護保険事業 特別会計補正予算(第1号)	5700万円 追加
公共下水道事業 特別会計補正予算(第2号)	125万円 減額

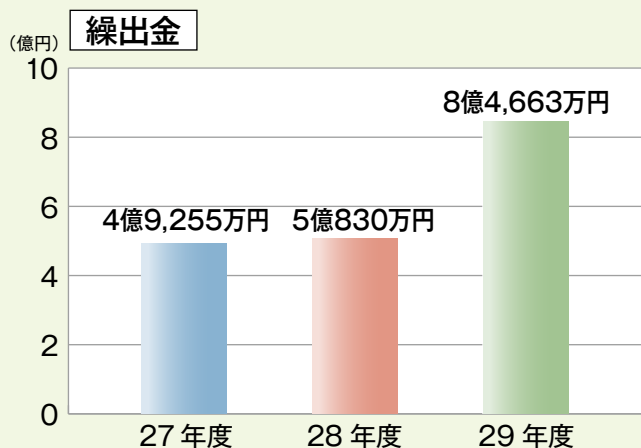
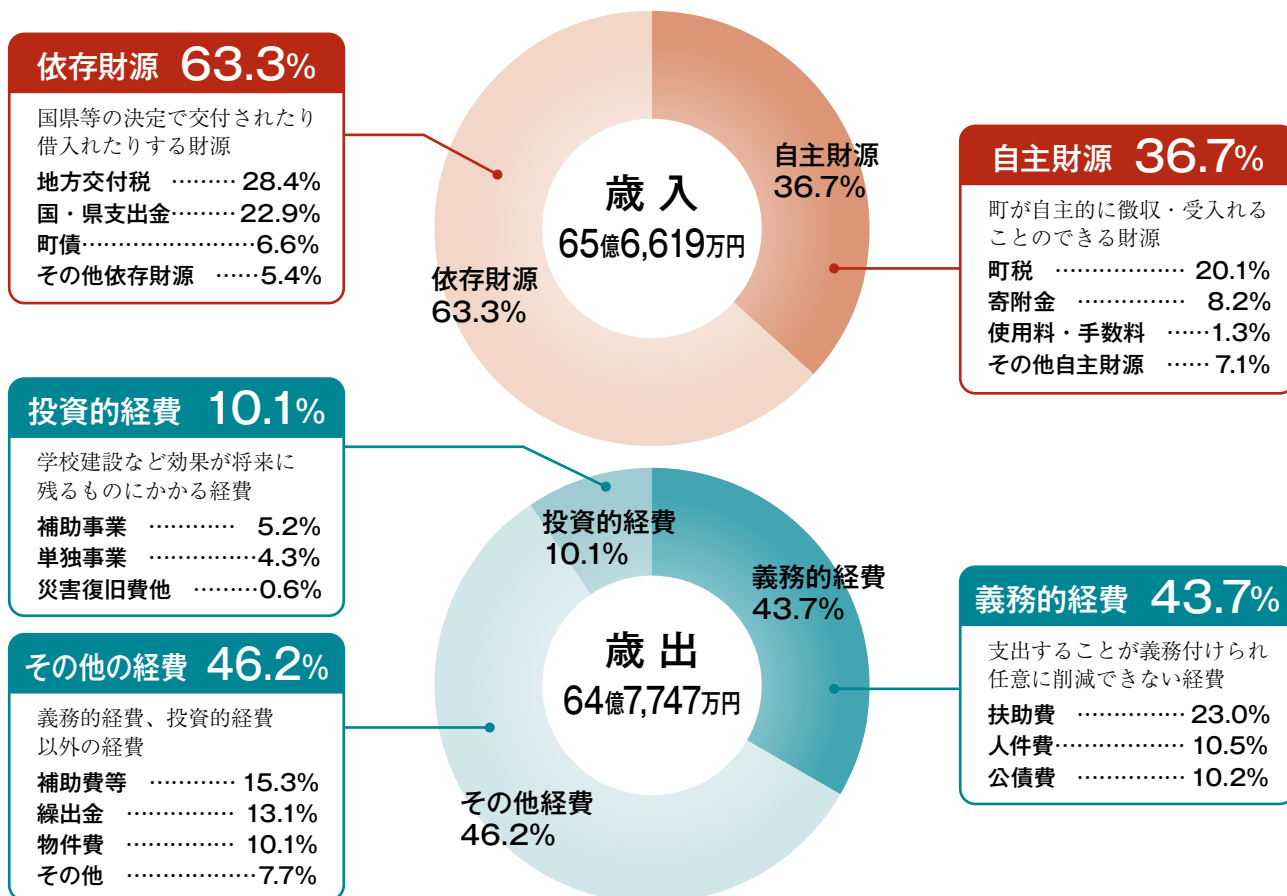
平成30年度一般会計補正予算 豪雨災害復旧費用など 2億1,100万円を追加

- Q & A**
- Q** 農林災害復旧事業の対象は、
A 農地9箇所、施設6箇所、林道13箇所
ある。林道は、土砂倒木撤去・維持管理
を行う。
- Q** ONS ENガストロノミーウォーキングの
内容は。
A 温泉から桜づつみを中心に、飲んだり食べた
りしながら8キロをウォーキングする。
温泉振興会や地元商店街、観光協会などで実
行委員会を作って具体的に検討する。
3月30日の開催予定で、町外からの参加者
250人を目標としている。
飲食物販ブースを開設し盛り上げたい。
Q 交通安全施設工事の対象は。
A 金屋、小樽、鬼木、井石、折敷瀬、宿、乙長野、
協和など14箇所を予定。

ふるさと納税 5 億円突破

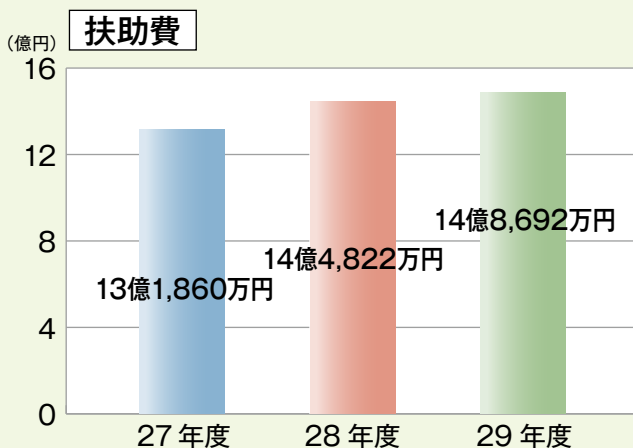
ふるさと納税による寄附金が大幅に増加しましたが、町営工業団地事業清算による一時的な影響を除いても、引き続き国民健康保険事業などの歳出増加により、一般会計から特別会計への繰出金は増加の一途を辿っています。（下表のとおり）

また、育児・障害者・高齢者などへの社会保障に掛かる扶助費も、これまで同様増加傾向にあります。



※繰出金

会計間でやりとりされる経費。国民健康保険事業などの各特別会計について、負担増になっている部分の一部または全部を一般会計から繰出して補てんしている。



※扶助費

認定こども園運営補助、障害者総合支援事業年金、生活者臨時交付金などの福祉関連費

決算特別委員会 Q & A (開催日 10月1日)

総括

Q ふるさと応援基金は29年度末に2億7、600万円の積立があるが使い道は。

A 次世代支援のためという寄附者の意向が多かった。それにつながる事業に活用したい。

Q 庁舎建設の基金はどれくらい必要なのか。

A 額は明確に言えないが、一定規模の建設基金は必要。

Q 町が保有する株券とはどこの株券か。

A 九州電力が555株、東京電力が70株である。

総務費

Q 定住奨励金対象者はどこからの移住が多いのか。

A 佐世保市から13件と圧倒的に多く、千葉・兵庫・福岡・雲仙などから1件ずつである。

Q 補助対象である川棚



教室に設置された扇風機

内海線の利用状況は。

A 昨年度約7.7万人の乗車があり、定期外利用者約4.6万人、定期券利用者約3.1万人となっている。



補助対象の川棚内海線

農林水産業費

Q 有害鳥獣被害防止対策用のワイヤーメッシュ柵は、耐用年数が14年であるが、期限が来ても更新できるとは限らない。永年経過すれば、柵自体が劣化する。14年で更新できるようにすべきである。

A 要望書を農水省へ提出する。

Q 各種農業施策があるが、先行きが不透明である。将来的な構想は。

A 国の方針では、大きな農業の展開を進めているが、本町では中規模の農業をどう進めるかが課題であり、中心になる考える。

商工費

Q 通話録音装置の導入費158、760円とある。特殊詐欺対策として効果があると思うが、もっと普及できないか。

A 27年度から、これまで45台導入しているが、現在34台の貸出に留まっている。町内でも被害が発生しているので、ぜひ活用してほしい。

Q オフィス系企業誘致推進の現状と今後の計画は。

A 本町としては、オフィスを建てる計画はない。空き店舗や空き工房などを活用した小規模事業所などの誘致を県産

業振興財団と連携し推進していきたい。



現在、利用中の空き工房（田ノ頭郷）

土木費

Q 鴻ノ巣公園の低木管理委託は、木や草が伸びきった状態で発注しているため、作業がしづらいと聞く。もっと早く定期的に計画できないか。



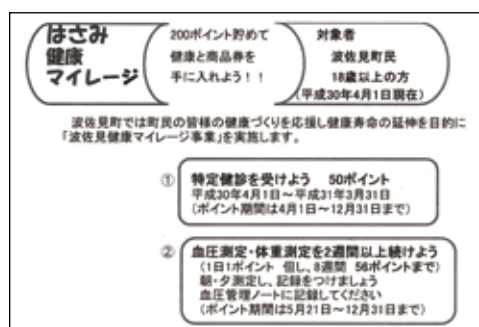
鴻ノ巣公園低木剪定（左：作業後 右：作業前）

A なるべく早めに発注し、生い茂った状態にならないよう計画的な実施を再検討する。

衛生費

Q 健康マイレージ事業は、町民への浸透、活用が進んでいないがその対策は。

A 始めたばかりの事業であるため、努力して啓発に力を入れながら活用を図る。



健康マイレージカード

民生費

Q 障害児への発達支援と受入推進事業の違いは何か。

A 前者は、障害児が成長するために専門的な療育・訓練の経費を助成するもの。後者は、障害児を受け入れている子ども園・保育所に対して助成するもの。

教育費

Q 中学校の学校図書購入費が例年に比べて30万円程少ない。これでは生徒の知る権利を奪っていると言える。学校への指導をしっかりとすべきだ。

A 教材などは基本的に学校に任せている。予算管理は教育委員会でを行っているので、今後は、指導していきたい。

消防費

Q 大雨による土砂崩れなどの災害が頻繁に発生している。こういった災害に迅速・確実に対応できるよう、防災訓練は行われているのか。

A 消防団で防災訓練として行っているのは、土のう作り・積み方訓練である。今後、それ以外の訓練も必要になると思う。



消防団による土のう積み訓練

平成30年度 波佐見町一般会計補正予算(第1号) 反対討論

教育費に歴史文化交流館の予算(敷地西側外壁撤去工事)が計上されている。耐震に対し緊急性はあるとしても建設費および改修費等々を十分検討しながら大枠の基本設計で予算計上をやっていくと言いながら、いろんな形でこの項目を使いながら予算計上をされている。よって、この議案については反対する。

三石 孝

賛否表 主な議案

○賛成 ●反対 一は欠席

議案 番号等	議案	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議決の 結果	表決数 (賛成・反対)	福田 勝也	城後 光	横山 聖代	三石 孝	北村 清美	脇坂 正孝	百武 辰美	中尾 尊行	尾上 和孝	川田 保則	太田 一彦	堀池 主男	石峰 実
41	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度波佐見町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号))	承認	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	平成30年度波佐見町一般会計補正予算(第1号)	可決	12:1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第2号)	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	平成30年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	平成30年度波佐見町公共下水道事業特別会計補 正予算(第1号)	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	財産の取得について(第4分団消防ポンプ自動車)	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	平成29年度波佐見町一般会計歳入歳出決算認定 について	認定	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48~52	平成29年度波佐見町国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算認定について 他4件	認定	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	平成29年度波佐見町上水道事業会計剰余金の処 分及び決算の認定について	可決 及び認定	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	平成29年度波佐見町工業用水道事業会計剰余金 の処分及び決算の認定について	可決 及び認定	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	教育委員会委員の任命について	同意														
56	東小学校プール改修工事請負契約の締結について	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	監査委員の選任について	同意														
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦について	異議は ない														

※議長は採決に加わりません。可否同数の場合は、議長表決となります。

キーポイントは「見出し」

9月26日 議会広報研修会

議会広報紙発行の目的は、『住民に読まれ議会活動が伝わる』ことにある。そのためには、数多い編集工程の中で、特に「見出し」が重要であると講師は強調された。

このようなことを踏まえ、より読みやすく、読んでもらえる紙面づくりが重要であると改めて認識した。

議会広報紙の目的実現に向け、委員一同さらに努力していきたい。

ポイント

(脇坂 正孝)

(1) 思わず読んでしまう見出しであること。文字数にして10字前後が理想的で、多くても15字以内がよい。

(2) 本文を読んでみたくなる見出しであること。その要件は、①本文を読むメリットが明確である。②具体的である。③分かりやすい。④心に響く表現である。

また、研修会に参加した各町の議会広報紙のクリニック(紙面診断)が行われた。本町の「はさみ議会だより」は、まだまだ改善すべき点が多くあった。



講師は議会広報サポーターの芳野政明氏

一般質問

一般質問とは

町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をだし、自己の意見や政策を述べるものです。質問権は、町の重要な意思を決定し、住民に代わって行財政の運営を監視する機能をもつ議会の構成員である議員に与えられている固有の権利です。



※9月定例会会議録は、1月中旬ごろ町ホームページへ掲載します。

<http://www.town.hasami.lg.jp>

も く じ

掲載ページ	議員名	内 容
8	太田 一彦	(1) 教育行政 ※ (2) 観光事業
8	堀池 主男	(1) 本町の高齢者と空き家対策 ※ (2) 教育行政 ※
9	横山 聖代	(1) 女性活躍推進 ※ (2) 小中学校のエアコンの設置 ※
9	城後 光	(1) 男性の育児参加 ※ (2) 所信表明 (3) 地域おこし協力隊の活動
10	尾上 和孝	(1) 学校給食における食育 ※ (2) 防犯カメラおよびドライブレコーダー ※
10	北村 清美	(1) 人口減少対策 ※ (2) 町長の6期目の政策 ※
11	脇坂 正孝	(1) 町民所得の向上 ※ (2) コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度） ※
11	三石 孝	(1) 官製談合事件 (2) 自治会からの要望書 ※ (3) 自治会に対する補助金等 ※

※本誌に掲載している内容です。



太田 一彦

小中学校のブロック塀は

教育長

撤去してフェンス化する

今年7月2日(月)台風7号の接近で休校になったが、実際は3日(火)に最も接近し、2日間休校となった。

問 県内で2日間の休校は本町だけだったが、なぜか。

教育長 天気予報によると、台風7号は前の週の6月29日(金)時点で月曜日に最も接近するとのことだった。29日の午後に各中学校長が集まり、対応を協議した。土日を挟むため、児童生徒の安全を考慮し、文書で確実に連絡が行き渡るよう決定を行った。

問 今後の対応は。

教育長 今回を契機に、中学校に一斉連絡メールの導入を行う。

6月18日午前7時58分、大阪北部地震が発生した。学校のブロック塀が崩壊し、その下敷きになった通学中の小学4年の女児の尊い命が犠牲となった。

問 本町の学校施設のブロック塀などをチェックし



中学校体育館東側のブロック塀

た結果への対策は。

教育長 東小学校と中学校にブロック塀を確認した。設置から40年近く経過しており、撤去しフェンス化を計画している。

問 通学路について危険箇所の確認はされたのか。

教育長 保護者に対し、ブロック塀や防犯を含めた危険箇所の調査を依頼している。

問 南小学校の校庭を芝生化されたがその経緯は。

教育長 魅力ある、そして地域に開かれた学校づくりを目的に、地域コミュニティの中心となるよう芝生化した。

高齢者世帯の支援は十分か

町長

異変には迅速に対応する



堀池 主男

本町の高齢者と空き家対策について

問 高齢者世帯の現状と支援は十分できているか。

町長 本年7月末現在で、2人以上の高齢者世帯が382世帯、1人暮らし高齢者数は383人となっている。

町が全ての家庭を直接訪問し、相談支援を行うことは非常に難しい。民生委員などにお願ひし、異変に気づいた時はすぐに役場で対応する。

問 高齢者の見守りに関する協定はどうなっているか。

町長 平成28年に、ララコープとセブンイレブンと協定を締結している。

問 予約制乗合交通は、平日週5日間の運行とする考えはないか。

町長 タクシー事業者と協議、交渉を行った。配車や運転手の都合上、週2日の運行が限界である。

教育行政について

問 児童・生徒の登下校時の安全指導はどうか。

教育長 特に小学校における不審者対策については、自分の命は自分で守るとの自衛の意識を持たせる教育が重要と考える。

問 児童が名札を付けて登下校しているが、学校内だけにする考えはないか。

教育長 交通事故などに関係先へ素早く連絡できるメリットが大きいため、常につけるよう指導している。

問 県道の歩道に草が生えており、児童・生徒が登下校時に危険である。対応は。

教育長 県管理のため、建設課を通じて除草の要望を行いたい。



県道の歩道の雑草

プレミアムウーマンデーの推進を

町長

まずは仲間やグループでスタートを



横山 聖代

女性活躍推進には家庭内での女性の負担軽減が欠かせない。今年度から、夫婦会議セミナーが開催された。

問 夫婦会議を推進するために、母子手帳交付時や、婚姻届提出時に『世帯経営ノート』を交付してはどうか。

町長 セミナーで説明を聞いてもらう方がうまく活用できると考える。今後多くの女性の負担軽減、活躍推進のツールになるよう考えていきたい。

問 町内の各施設や店舗に対し、授乳室・おむつ替え用ベッド・子どもが遊べるスペースなど設置の支援は出来ないか。

町長 まずは公的施設で、対処できる部分について検討を進めたい。民間には、環境整備をお願いしていきたい。

問 「女性はこうあるべき」という社会の固定観念があり、まだまだ女性の負担が多い。リフレッシュ出来る日として『プレミアムウー

マンデー』を推進してはどうか。

町長 行政ができる範囲では、やりづらいところがある。まずは民間の動きを期待したい。

小中学校のエアコン設置について

問 早期の全校設置を目指すところがあるが、具体的なスケジュールは。

教育長 今夏の酷暑を踏まえると早期に設置したいが、エアコンの供給不足も考えられる。遅くとも来年度の暖房時期に間に合うようにと考えている。



家事・子育て・仕事・お金・健康など、産後の夫婦がすれ違いやすいポイントに的を絞って書いてあるノート

子育て環境の充実を

町長

施設・制度の両方から研究する



城後 光

母親の育児、家事の負担軽減を図るためにも、父親が積極的に子育てに関わり、夫婦で協力して家庭生活を営むための支援を行うべき。

問 本町における女性の就業率は。

町長 15歳から64歳の女性の就業率は約75%。

問 役場女性職員の割合は。

町長 臨時職員を含めると全体の約46%。

問 夫婦パートナーシップ応援セミナーで配布された世帯経営ノートの注目も高まっている。

父親の協力を得やすくするためにもこれらをさらに活用できないか。

町長 夫婦間の危機を乗り越えるためのツールとして作られたこのノートについては、今後とも普及を図っていきたい。

波佐見町男女共同参画計画が今年4月に発行されているが、一般に知られていない。

問 男女共同参画について町民に理解いただく機会を作っていくべきではないか。

町長 取りまとめたアン

ケート結果については、意識啓発の一つの手段として、どのような形で活用できるか検討したい。

育児世代の母親同士が同じ思いを共有できる場所が少ない。

問 子どもを連れて母親同士で会話が出来る施設を整備できないか。

町長 今後できる範囲で可能な取り組みをしていきたい。

他地域の庁舎では、母親が子連れでも対応できる施設整備も検討されている。

それも踏まえながら、今後の公共施設については十分検討したい。



親子で自由に利用できるキッズステーション
武雄市新庁舎内に設置



尾上 和孝

公用車にドライブレコーダーを

町長

設置の方向で検討する

学校給食の献立は子ども達にとって美味しいものを意図して作られているが、食べ残しが一定量ある。

問 食育推進及び残量を減らす対策として、学校ごとに子ども達が考えたものを投票させて給食のスペシャルメニューとして献立化することができないか。

教育長 各学校、関係機関との調整やカリキュラムの変更など、多くの課題が出てくると考えられる。

また、実施したとしても相当の時間を要するため、各学校からの意見を十分に聴取し、状況を考察し検討したい。

ドライブレコーダーは防犯カメラとして代用でき、安心安全なまちづくりに繋がるものである。

問 町職員や町民の安全運転意識の向上を図るため、



ドライブレコーダー

公用車にドライブレコーダーを設置できないか。

町長 ドライブレコーダーは動く防犯カメラとも言われ、事故や犯罪発生時の原因究明に利用されるなど、その効用は社会的にも認められている。

また、運転者の安全運転意識向上につながるとして、運送事業者など設置が増えている。

さらに、安全運転管理者講習でも促されており、公用車への設置を検討する。

問 いつ頃設置できるか。

町長 財政と協議し、来年度に予算要求したい。

高校生医療費無料化を

町長

前向きに検討する



北村 清美

長崎県全体においても過疎化が進行しており、本町も窯業、農業の後継者不足はもとより、地域間格差が顕著に現れている。

問 高校生医療費の無料化はできないか。

町長 前向きに検討する。

問 定住奨励金、リフォーム補助金の増額はできないか。

町長 増額はできないが、要望件数が多ければ補正予算で対応する。

問 より一層、下水道、浄化槽設置の奨励ができないか。

町長 下水道未接続の世帯は、定期的に訪問し、水洗化率の向上を図る。また、浄化槽設置補助金を増額し、奨励と普及推進を行う。

問 本町の特色ある重点政策は何か。

町長 総合戦略の基本目標の第一番目に掲げている「人を育てる」政策が他町に無い特色のあるものである。

町長の6期目の政策について

問 所信表明の中に、「多選への批判も真摯に受け止め、初心に立ち返り、与えられた期間、全身全霊を持って努めたい」と述べられたが、その意図は。

町長 与えられた環境の中で最善を尽くすということが一番のモットーである。

問 「庁舎建設、小石原住宅整備、歴史文化交流館（仮称）事業がある。推進のためには、大きな財政負担を伴う。総合計画や行政改革の確実な実行により、財政の健全を図り、円滑な事業の推進に努めたい」とあるが。

町長 国県の動向を見極めて、本町の財政的な体力、見通しを立てて進めたい。



波佐見中央浄化センター

町民所得向上対策はどうか

町長

各産業の振興を図る



脇坂 正孝

本町の一人当たり町民所得は県内最下位であり、その向上対策が急務である。

問 所得額はいくらか。

町長 インターネット公開資料で2017年度は223万6812円。全国の市町村でも極めて低い。

問 所得向上対策は。

町長 産業の振興、特に地場産業の振興が重要。併せて、観光業は他産業への波及効果が大きいので推進を図る。各事業が効果を発揮

することで、経済の好循環、賃金などの改善となり、所得の向上につながる。

県教委は、コミュニティスクール(学校運営協議会制度)を2020年度に全市町に導入する方針を明らかにした。

問 その概要は。

教育長 地域、保護者、学校が一体となって協働し、共通の課題や子ども達の健全育成について話し合う組織である。

問 設置した場合の学校の長所と短所は。

教育長 長所は、地域や学校が抱える課題を実践組織として、より行動的に解決することが期待できる。

短所は、学校支援会議など多くの組織を抱え、これらとの整合性や運営について整理しなければ、学校の負担が増えることである。

問 既存組織とどのように整合性を図るのか。設置年度は。

教育長 学校支援会議をコミュニティ会議に発展的に移行する方向で、検討している。2020年度には設置したい。



地域や企業などが協力して開催された「南っ子ふるさと祭り」

災害復旧補助金の下限撤廃を

町長

今後研究する



三石 孝

自治会の要望書を町長宛に提出すると、数日後に町長名で回答書が届く。財政状況を理由に実現が難しい旨、記載されているものがほとんどである。

問 基本的な取り扱い方は。

町長 企画財政課で受付し、関係課に回覧する。必要に応じて、自治会に立ち合いを求め、現地確認を行う。重要性・緊急性を踏まえ、予算調整を図り回答を行う。

問 町長まで回覧されているか。

町長 ほぼ回っていると思う。

問 回答書の内容では、町長・副町長・財政部署への回覧が行われたか読み取りにくい。回答書に、回覧時の確認印やコメントのコピーを同封できないか。

町長 そのような要望が自治会からあれば、対応したい。

7月の豪雨により、本町も建設・農林を始め公民館や有線放送設備など多くの被害を被った。国の補助対象とならない場合、町の補助金が適用される。

しかし、町の補助金対象は、工事費が5万円以上など下限設定があり、それ以下の工事は、自治会や自己負担となる。

問 地方自治の本旨として、町民の生命と財産を守ることが第一義的な使命である。災害復旧工事の下限額の撤廃は出来ないか。

町長 極端に言えば、被害額が1万円の場合もそれでもいいのかどうか。限られた財源であり、そこは研究したい。



土砂崩れの災害状況

快適に勉強

できるよ

教室に扇風機設置

全小中学校教室に8月末、扇風機設置が完了した。これで、児童・生徒は暑さから解放され、学校生活が少しは快適になるだろう。



8月30日、3小学校を訪問

東小は扇風機を調査。扇風機は空気の循環による気温低下が期待でき一定の効果がある。

中央小は新たに設置した仕切り壁を調査。普通教室の廊下側にこれまでなかった仕切り壁を設置し、冬の冷気の侵入防止や雑音の遮断が期待できる。

南小は校庭の芝生植生を調査。6月に植え付けたが、干ばつで順調な生育とは言えない。児童・生徒が思い切り校庭で遊び、学校開放がさらにできるよう、今後の芝生管理を期待する。



南小学校校庭の芝生植生
夏は干ばつで、かん水作業が続いた

7月5日

学校給食センターを調査

施設は築17年が経過。衛生面や安全面で施設・設備の改修が急務で、計画的な整備が必要である。

8月2・3日、山口県の萩博物館、周南市役所などを視察

萩博物館では、建設に至った経緯、施設の管理運営などを主に調査。同館は、萩の町全体を博物館としてとらえ、その中核施設として開館された。管理運営は市職員とNPO法人との協働である。また、特別展や企画展を多く開催し、入館者の多さに繋がっている。本町でも参考となる手法である。

周南市役所では、防災情報システム整



山口県萩博物館を視察

総務文教委員会 (新メンバー)



福田勝也

横山聖代

今井泰照

脇坂正孝

副委員長
中尾尊行

委員長
尾上和孝

堀池主男

備事業と賑わい交流施設を調査。防災情報は、優良な機器でも完全ではなく、「自助」「共助」がより重要であり、一人ひとりの防災意識の向上が必要である。

交流施設は、駅ビル内の市図書館が指定管理されており、毎日9時半から22時まで開館し、利用者本位で運営されている。今後は、施設の指定管理に民間がどう関わっていくかが、重要になってくると思われる。

議会運営委員会

委員長	百武 辰美	委員	尾上 和孝
副委員長	中尾 尊行	委員	太田 一彦
委員	脇坂 正孝	委員	石峰 実

2018年11月1日から委員会構成が変更
2020年10月31日の任期満了まで、この体制で町民福祉の向上に励みます。

産業厚生委員会調査項目

調査日	分野	調査内容
8月1日	建設	町道の現状・豪雨災害の状況・住民からの要望
8月22日	農林	儲かる農業、小規模農林事業・森林環境税・有害鳥獣被害防止対策事業・豪雨災害状況
//	商工振興	窯業人材育成等産地支援事業・予約制乗合交通
9月3日	福祉	国民健康保険事業の新制度・特定健診事業



乗合交通のりば

商工振興
予約制乗合交通の現状は、停留所や便数を増やしたが、満足する体制が出来ていないとは言えない。少子高齢化は、予想以上に急速に進んでおり、早急に対策を講じなければならぬと指摘した。
窯業人材育成事業は第2段階に入りますが、内容の充実と関係団体との協議が進行中であり、注視する必要がある。

農林
儲かる農業に関しては、展望が開けず手探り状態である。駄野地区以外の農業にも目を向け、早期に実効性のある計画を作成するよう指示した。

建設
町道整備や要望書の優先順位を確定する判断基準が不明瞭であり、早急に基準の作成が必要であることを指摘した。

福祉
特定健診の通知発信などに創意工夫が施され、受診率アップに功を奏していた。
国民健康保険の新制度は長崎県が市町村と共に共同保険者として、役割を担うものである。現在随時進められており、今後の状況を注視する必要がある。但し、新制度でも町村の事務量削減の見通しが立たないのは大きな問題である。

産業厚生委員会 (新メンバー)



公共施設等調査特別委員会

委員長 川田 保則 委員 中尾 尊行
副委員長 石峰 実 委員 尾上 和孝
委員 百武 辰美

議会広報調査特別委員会

委員長 北村 清美 委員 横山 聖代
副委員長 城後 光 委員 三石 孝
委員 福田 勝也 委員 脇坂 正孝



議会を傍聴してみませんか



傍聴者数

会議名	延人数	会議名	延人数
29年 第1回定例会（3月）	11人	30年 第1回定例会（3月）	26人
29年 第2回定例会（6月）	23人	30年 第2回定例会（6月）	41人
29年 第3回定例会（9月）	15人	30年 第3回定例会（9月）	24人
29年 第4回定例会（12月）	22人	(30年第4回定例会は12月10日～13日の開催のため、集計に含んでいません。)	
合 計	71人	合 計	91人

31年第1回定例会は 3月上旬に開催予定

日程はホームページや
町内放送でお知らせします

波佐見町役場議会事務局
☎85-5755 <http://town.hasami.lg.jp>

30年は第1回から第3回までで91人の傍聴がありました。
「この条例は何のために作られるの?」
「どうやって予算が決められるの?」
議会では、様々な事業の政策過程を見ることができます。
今後もたくさんの方の傍聴をお待ちしています。



▲一部のマイクの音が聞こえづらかったため、
ハウリング防止装置を設置して、音響を改善しました

◀傍聴席への階段の手すりを右側にも設置しました

傍聴しやすくなりました

議会広報調査特別委員会



福田勝也

三石 孝

横山聖代

副委員長
城後 光委員長
北村清美

脇坂正孝

発行責任者

議長 今井泰照

今年も残りわずかになりました。
十月より、新しく福田勝也議員を迎え、広報委員一丸となって、今後とも「伝わる広報誌」になるよう、町民皆様の目線に沿った紙面づくりに努力して参りたいと思います。

(北村 清美)

編集後記